

1 学年薬物乱用防止教室

12月1日(月)、薬物乱用防止教室を実施しました。本校では、警察・薬剤師・学校の三者連携型の薬物乱用防止啓発プログラムDARPによる薬物乱用防止教室を取り入れています。

DARPは、ロールプレイングをとおして、薬物による心理社会的な影響や対処方法について実践的に学びます。

誘い役(教員):「疲れがとれるいいものがあるぞ。お前もやってみないか。」

誘われ役(生徒):
「なんですか？それ…」

学校薬剤師 前東先生 登場！

「ちょっと待って！それは危険なですよ！」
…薬物が体に及ぼす影響や危険性をお話いただきました。

誘い役(教員):「やせ薬だよ。食欲がなくなって食べなくても平気なの」

誘われ役(生徒):
「えー、本当に効くの？」

盛岡東警察署 スクールサポーター 和泉さん 登場！

「何しているの？それは本当にやせる薬?!」
…実際に起きた事例を交え、薬物を乱用することで失うものは何かお話をいただきました。

自分にとって身近な人に誘われたら…？断り方を考えよう！

校長先生登場！

私は絶対やらないよ！

そんなのやめて、
もっと自分を大切にしまよ！

<生徒感想(抜粋)>

- ・もし自分が誘われたら、きっぱり「NO」といえる勇気を持ちたい。
- ・風邪薬等を多く使うことも「乱用」になると学んだ。自分の人生を棒にふるまいよう大切にしたい。
- ・自分がかたき断るだけでなく、相手を止める勇気も大切だと思った。